

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「ホタルの光とシバザクラでつなぐ地域ぐるみ川普請事業」
事業主体 (連絡先)	水を守る会 0263-52-0280 (内線 1244)
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	429,460円 (うち支援金: 300,000円)

事業内容

1 田川河川敷き及び護岸整備活動

本来、河川管理者が行う内容も含まれるが、河川敷きの葎やアカシヤ、護岸に繁茂しやすいアレチウリ等の帰化植物の駆除を、河川周辺地域住民の外、「クリーン塩尻」パートナー制度加入団体に加入する団体により実施した。

また、整備に要する刈払機やチェーン・ソーなどの機器や護岸整備のための花苗等を購入し、整備を行った。

実施期間 平成28年4月1日～平成28年3月10日
区域・場所 田川河川流域 (シバザクラ植栽は、別図のとおり)

○モデル的で発展性のある事業である理由

協働による河川の環境保全の機運を高め、行動していくことで、河川のホタルが上流から下流まで生息域を延ばし一筋の光となることと芝桜でつなぐことを達成目標とすることにより、地域住民や市民団体及び事業者らが、居住し働く地域に貢献でき、地域に愛着を持つことが期待できること。



【シバザクラ植栽の様子】

事業効果

魅力のある川沿いを造る

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・河川敷のゴミ拾い L = 2 km (毎年、継続する)
- ・河川敷の外来生物(帰化植物)駆除作業 L = 3 km (毎年、継続する)
- ・河川敷のニセアカシア伐採 L = 50 m (毎年、継続する)
- ・護岸への芝桜等の植栽 L = 30m → L = 200m
- ・ホタルの光が繋がった長さ L = 8km → L = 10km

【目標・ねらい】

- ①河川の美化
- ②潤いのある河川整備

※自己評価 【 A 】

【理由】

地域住民を含め多くの参加を得られた。また、購入したシバザクラを全て植栽でき開花時期には魅力ある河川敷を整備できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度以降も継続的に続け潤いのある河川敷を整備する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある